

令和5年度 ASEAN向けAJEEP Scheme 4 第2回オンラインワークショップを実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、資源エネルギー庁の委託を受けて、令和5年度のASEANに対する省エネ人材育成事業のAJEEP Scheme 4 プログラムの第4弾として令和6年2月22日（木）終日、ASEAN10カ国政府の省エネ政策・制度関係者を対象に、ASEANのエネルギー管理士の共通標準研修プログラム他に関する第2回オンラインワークショップを開催しました。



1. 目的：R4年度より開始したAJEEP Scheme 4は、SAEMAS（持続的ASEANエネルギー管理士認証システム）を構築するために、技術面からASEANの共通標準研修プログラム(Common Standard Module: GSM)等を作成・支援するものです。2年目のR5年度はGSMの中身の作成や先進的科目(Advanced Module: AM)の構成案及び相互認証協定(Mutual Recognition Arrangement: MRA)ガイドライン案を作成する計画でした。そこでR5年10月に3回に亘る主要5カ国の訪問と11月に招聘研修ECAP30を開催し、それらの結果を踏まえて各国の政策担当者他からなるSAEMASワーキンググループ(WG)によるワークショップ(WS)をオンラインで2回開催する計画とし、1回目のWSを1月24日に、そして第2回目のWSを今般開催しました。ここでは今年度最後の活動として、GSMの中身、AMの構成案、MRAガイドライン草案のそれぞれ最終化に向けた進捗と課題を共有し討議しました。
2. WS出席者：SAEMAS WGメンバーとしてASEAN各国から13名、ACE(ASEAN Centre for Energy)から6名の合計19名が、またECCJからは11名が参加しました。
3. WS概要と結果：
 - (1) ASEAN各国からのGSM, AM, MRA案へのコメント・要求に関するカントリーレポート
 - (2) GSMの研修テキスト、ビデオ、試験問題作成等の進捗状況と残された課題の取り組み
 - (3) GSMの運用体制に関する検討
 - (4) EMP(エネルギー管理プロ)の候補者見直しと申請手順・認定計画
 - (5) AMの構成最終案と今後の展開
 - (6) MRAガイドライン草案の最終化と今後の予定
 - (7) それぞれ活発な議論が交わされ、今年度のAJEEP Scheme 4の活動は計画通り実施され成果を得ることが出来ました。残された課題は来年度の活動の中で取組む予定です。

* ECAP: Energy Conservation Workshop under AJEEP(ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership)
ASEAN-日本エネルギー効率パートナーシップのもとに実施される受入研修

* EMP: Energy Management Professional; ASEAN地域に新たに設定するエネルギー管理プロ資格